町有施設への太陽光発電設備導入調査及び省エネ調査業務プロポーザル評価基準

１　評価項目等

評価項目、評価の視点及び配点は次のとおりとする。

評価項目	評価の着目点	評価				比率	配点
		A（5点）	B（3点）	C（1点）	D（0点）		
1. 業務実績	(1)公共施設等への太陽光発電設備導入調査、または省エネ調査について、平成30年4月1日以降で本業務と同様の実績があるか	合わせて５件以上の実績がある	合わせて３件以上の実績がある	実績はあるが、太陽光発電設備導入調査か省エネいずれかの実績が無い	実績が無い	3	15
2. 実施体制	(1)業務を適正に履行できる実施体制（人員、スケジュール等）が提案されているか	具体的かつ実現性のある実施体制が示されている	具体的な実施体制が示されている	―	具体的に示されていない	1	5
	(2)業務実施予定者が類似の業務経験を有しているか	太陽光発電設備導入調査の経験を有する担当者と省エネ調査の経験を有する担当者がそれぞれ複数配置されている	太陽光発電設備導入調査の経験を有する担当者と省エネ調査の経験を有する担当者が、それぞれ少なくとも１名ずつ以上配置されている	太陽光発電設備導入調査の経験を有する担当者もしくは省エネ調査の経験を有する担当者のいずれかが配置されている	担当者に業務経験が無い	1	5
	(3)会社としてISMS(ISO27001)、QMS(ISO9001)、EMS(ISO14001)、EnMS(ISO50001)を取得しているか	３つ以上取得している	２つ取得している	１つ取得している	取得していない	1	5
	(4)会社として有用な資格者を有しているか（必須資格を除く）※	有用な資格を５種類以上有している	有用な資格を３種類以上有している	有用な資格を有している	有用な資格を有していない	2	10

	(5)業務実施予定者が有用な資格を有しているか※	複数の担当者が有用な資格を有しており、少なくとも１名以上が必須資格を有している	複数の担当者が有用な資格を有している	有用な資格を有している担当者が１名いる	有用な資格を有している担当者が配置されていない	2	10
3. 提案内容	(1)太陽光発電設備導入調査の手法や手順が具体的に示されているか	手法・手順が具体的に示されている	－	手法・手順のいずれかが具体的に示されている	手法・手順ともに具体的に示されていない	2	10
	(2)省エネ調査の手法や手順が具体的に示されているか	手法・手順が具体的に示されている	－	手法・手順のいずれかが具体的に示されている	手法・手順ともに具体的に示されていない	2	10
	(3)上士幌町の地域事情を理解した提案となっているか	地域事情を理解した提案となっている	地域事情をやや理解した提案となっている	－	地域事情を理解した提案となっていない	1	5
	(4)提案の独自性があるか	独自性が十分に盛り込まれている	独自性が多少盛り込まれている	－	独自性が無い	1	5
4. 金額	(1)提案金額は安価か	最も安価	次点	第３位	４位以下	3	15
5. その他	(1)プレゼン資料・プレゼン内容・質疑応答は適切か、わかりやすいか	適切でわかりやすい	適切だがややわかりにくい	適切だがわかりにくい	不適切	1	5

※有用な資格：技術士（電気電子、環境、建設のいずれか)、エネルギー管理士、建築設備士、ファシリティーマネージャー、監理技術者（建築工事・電気工事・管工事)、第一種電気工事士

２　その他

（１）評価点が総合計点の５割に満たない提案者については、優先交渉権者として選定しないものとします。

（２）提案者が１者の場合であっても評価を行いますが、当該提案者の評価点が総合計点の５割以上である場合のみ、当該提案者を優先交渉権者として選定します。